

COURSE GUIDE BOOK 2019

🏠 特別進学コース



■ 西桐生キャンパス 特別進学コース

〒376-0043 群馬県桐生市小曾根町 9-17
TEL : 0277-22-8177 FAX : 0277-20-7465

■ 本校舎

〒376-0043 群馬県桐生市小曾根町 1-5
TEL : 0277-22-8131 FAX : 0277-22-4515



<https://www.kiriichi.ac.jp/course/d-special-enrollment/>



特別進学コース

桐生第一高等学校

桐生第一高等学校 建学の精神 「社会に役立つ人間の育成」

生徒自身が自分でも気づかなかった可能性を引き出す
桐一特進の教育

- ① 自主的で他を思いやれる人間性豊かな人格の育成
- ② 日本はもとより、国際社会の各分野をリードできる人材の育成
- ③ 新しい文化・文明の創造に貢献できる人材を育成

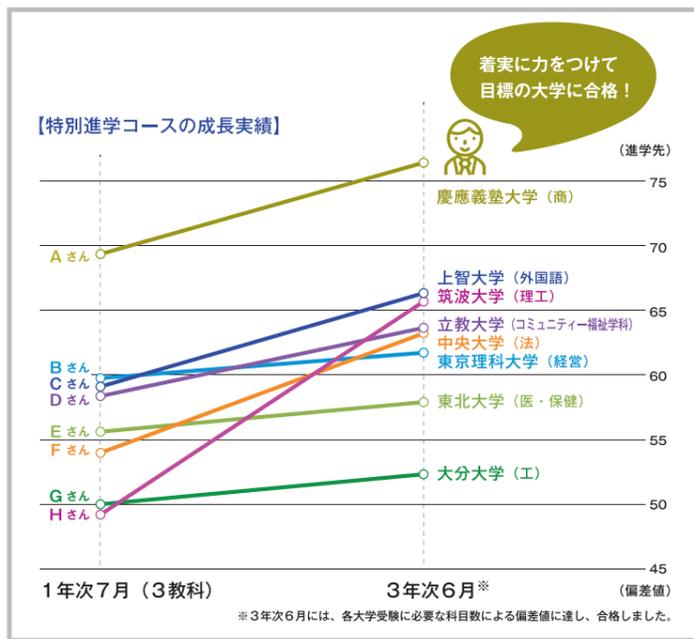
CONTENTS

- 🏠 特別進学コースとは？
..... 04 P
- 🏠 01. 充実したキャリア教育
..... 05 P
- 🏠 02. 進路支援
..... 06-07 P
- 🏠 03. 特別進学コースのポイント
..... 08 P
- 🏠 04. クラブ活動
..... 08 P
- 🏠 05. 卒業生の声
..... 09 P
- 🏠 06. 学校行事
..... 10-11 P

キリイチの特別進学コースとは？



入学時から卒業までの成績の変化



学業成績が伸びるのには理由がある。

- 放課後の特別授業**
 毎日、放課後に80分の特別授業が実施されています。
- 自由に使える自習室**
 図書館に併設された自習室が朝7時から使えます。授業が始まる前に自習して、放課後も夜遅くまで残って勉強できる場所です。机は一人ひとり仕切られていて勉強に集中することができます。また、職員室もとりにあるので、質問するにも近くて便利です。
- 開放的な職員室**
 疑問に思ったことは、すぐに質問。開放的な職員室は入りやすく、いつでも先生が対応してくれます。
- 夏期・冬期・春期の特別学習**
 長期休暇中には学年や進度などを考慮し、学習目標の達成や進学目標の実現に向けて、短期および長期の集中講座が行われます。基礎力を養成したら、実践力を養うなど学年にあった内容で展開されています。
- いつでも受けられる添削指導**
 東京大学や医学部など、難関大学を希望する生徒を対象に添削指導を常に実施しています。過去に出題された問題や、思考力の必要な問題などを題材にして、解決に至る過程を重視した指導を行っていただけます。
- 個別学習指導**
 生徒の希望に応じて、教科担当の教員が独自に開講します。特定の大学の入試問題の解説、ある単元の集中講義、授業のリカバー、基本事項の確認など、内容は様々です。生徒が希望して行う時もありますし、教員が生徒に声をかけて始める場合もあります。授業とは違った雰囲気でも勉強に取り組めるので、集中力や理解度もバツグンです。

目標を設定して、仲間と共に切磋琢磨する

1年生は入学するとすぐに目標を設定します。2、3年生は新学期が始まる前に自らの目標を設定し、新しい学年が始まると同時に目標を廊下の壁に貼ります。同じ目標を持った仲間と励まし合い、先輩の目標には来年度の自分を重ねながら学校生活を送ります。高い目標を設定し、その目標に向かって自ら引き上げることが何より大切です。

毎日の学習記録を参考に、学習習慣のチェックを行います。少しずつ増える記録は小さな自信になり、壁に貼った大きな目標への励みにもなります。また、面談を行うときの材料にもなります。



01. 充実したキャリア教育

研究活動プログラム

教員がそれぞれ1つずつ研究室を持っており、生徒はどれか1つの研究室に所属します。研究室に所属すると、個人または数人のグループに分かれて研究テーマを決めていきます。1年間かけて調べたものや作成したものを研究発表会で発表します。思考力とプレゼンテーション能力を養成できます。

過去の主な研究テーマ	国語研究会	英語研究会	数学研究会
	発見！古典作品に見る日本人の美意識と精神	イギリス英語とアメリカ英語の比較	正多角形を利用して円周率を近似する
	数学研究会	理科研究会	社会研究会
	ピタゴラスイッチ	・果物が熟すとやわらかくなるわけ ・ヘロンの噴水 ・柿の発酵	織田信長の家臣・ヤスケと蘭丸のアレコレ

英語教育プログラム

英語スピーチ

英語コミュニケーションクラブの部員を中心に、毎年数名の生徒が高校生対象の明石杯英語スピーチコンテストや大学主催の英語スピーチコンテストに参加しています。Nativeの先生とのグループレッスンをし、スピーチに必要な基礎知識を身に付けるとともに、英語での会話を通して運用能力を高めていきます。生徒は自らテーマを探し、スピーチ、プレゼンテーション、暗唱の部門の中から好きな物を選び参加しています。



平成29年度 西桐生キャンパス英検取得状況



語学教育の充実

大学入試の英語の試験が4技能を問うようになりました。本コースでは、語学力を磨くために充実したプログラムを実践しています。まず、実用英語技能検定試験取得を目標にしています。自分が取得している級の次の級を目指して、各自が積極的に受験しています。面接指導では、個別に時間を決めて指導を行っています。また、ニュージーランド語学研修プログラムでさらに成果を上げるために、本年度よりオンライン英会話を導入しました。ライブでネイティブの先生と個別に英会話ができます。毎回伝えようとする気持ちが強くなり、スピーキングスキルがぐんぐん上がります。

ロボカップで世界へ羽ばたけ

特別進学コース × 群馬大学工学部

ロボコン部では昨年度、ロボカップジュニアの大会にはじめて出場しました。ロボカップジュニアとは、「真に人間社会に役立つロボット技術を育成することを目標とした国際プロジェクト」で、地区大会から全国大会を経て、世界大会に繋がる大きな大会です。群馬大学工学部との連携により、On Stage リーグに参加し、本校は初出場ながら全国大会に出場することができました。生徒たちは活動の中でプログラミングだけでなく、計画性や創造性などを学び On Stage リーグでは、インタビューやデモンストレーションなどもあり、プレゼンテーションの力も鍛えることができました。今後も世界を目指して活動をしていきたいと思います。

2017年度大会等参加実績

- <On Stage リーグ>
- ・桐生ノード大会 優勝
 - ・群馬ブロック大会 優勝・ポスター賞
 - ・ジャパンオープン 第10位





3年間で志望大学に合格できる進路支援体制 受験担当教員制度で、生徒一人ひとり手厚くサポート

◆受験担当教員制度

3年生になると、受験担当教員が生徒一人ひとりに配置され、受験をきめ細やかにサポートします。

3年生になると生徒1人ひとりに受験担当の教員を配置して、受験校の選定、宿泊先、勉強方法など、大学受験に関するすべてのことを生徒・保護者の方と一緒に考えていきます。多種多様になっている大学入試の中で、生徒の将来や希望を考え、最良の受験計画を探っていきます。担任の教員と連絡を取り合うことはもちろん、所属している教員全員で、生徒の新しい可能性と将来を考え、進路選択の幅を広げていきます。



◆大学見学会

実際の大学を見学することで、
将来の進むべき大学や目標をより明確にします。

1年生は6月に、早稲田大学と東京大学を見学します。

早稲田大学では、元気よく説明してくれる大学生のガイドさんとともに「W」の文字を探したり、大きな図書館や歴史のある建物を見学します。最大の目標である東京大学ではキャンパス見学のあと、現役の大学生との座談会があります。どのような気持ちで東大を受験し合格したのか、いま何を目標にしているのか、東大生の話に生徒は引き込まれていきます。

勉強法や将来の夢など、どのような質問にも誠実に答えてもらえます。実際の大学を目の前で見ることにより、3年後大学生になっている自分をイメージできます。

◆進路講演会

進路講演会、東京大学 / 筑波大学の出前出張授業があります。

河合塾や Benesse の特別講師による進路講演会を行っています。大学入試の最新情報や勉強方法の工夫などを知ることができます。また、東京大学の先生による出前授業も行っており、前回は漁業から日本や世界の食について講演していただきました。大学で学ぶことや、世界の動きなどを学び、視野を広げることができます。



◆進路学習ノート

進路学習ノートを利用して、
自らの適正や世の中の問題について学びます。

進路学習ノートを利用して、自らの適性や世の中の問題について学びます。世界で起きている事柄に自分なりのアプローチをすることで、将来の自分像を築きます。

また、大学の学部や学科、大学入試の仕組みなどを知り、自分の進路について理解を深めます。また、生徒との面談も大切にしています。授業のことや進路についての話や、担任だけでなく教科担当の教員とも気軽に情報を交換し生徒の可能性を広げていきます。

◆保護者とのコミュニケーション

保護者ともコミュニケーションを取ることで
安心した学校生活が送れます。

生徒の学習状況、クラスの方針、学校行事など、学校の運営方法について、保護者の方に理解していただく機会として保護者会を実施しています。模擬試験のデータはもちろん、年々変わる大学入試の仕組みや受験料・入学金など、実際の受験までどのような準備をしたらよいのか、高校3年間を考えた進路情報をお伝えしています。

また、保護者の方々どうしの情報交換の場所でもあるようです。いろいろな情報を教員と保護者間で共有することにより、より安心して生徒は、学校生活を送ることができると思っています。



過去の進学実績

〔国立大学〕

北海道大学 / 東北大学 / 大阪大学 / 筑波大学 / お茶の水女子大学
横浜国立大学 / 東京学芸大学 / 千葉大学 / 電気通信大学 / 東京海洋大学
群馬大学 / 埼玉大学 / 広島大学 / 新潟大学 / 信州大学 / 首都大学東京
横浜市立大学 / 高崎経済大学 / 群馬県立女子大学 / 都留文科大学
群馬県立県民健康科学大学 他

〔私立大学〕

慶応義塾大学 / 早稲田大学 / 上智大学 / 東京理科大学 / 明治大学
立教大学 / 青山学院大学 / 中央大学 / 法政大学 / 学習院大学
同志社大学 / 立命館大学 / 関西大学 / 芝浦工業大学 / 東京薬科大学 他

03. 特別進学コースのポイント



Point 1 勉強に集中できる、西桐生キャンパスでの授業

放課後の特別授業が終わるのが午後6時ですが、自習室で夜遅くまで自習が出来るよう環境を整えています。西桐生キャンパスは、西桐生駅から徒歩1分、JR桐生駅から徒歩5分という交通の便の良い場所にあるので、安心して遅くまで勉強ができます。

この学舎には、特別進学コースと桐大附属中学校の生徒しかいないので、とても静かな環境で学習する事ができます。



Point 2 ニュージーランドへ語学研修旅行

英語に慣れ親しみ豊かな国際教養人になるため、2年生は海外研修旅行に参加します。9泊10日の日程でホームステイしながら、午前中は語学学校で現地の先生に英語を学び、それを乗馬などのアクティビティを通して実践します。

最高の環境の中で、生徒は1日1日成長していきます。日本に帰る頃には、生徒同士の会話でも自然と英語が混ざるようになります。



Point 3 自由に使える自習室

自習室は図書館と併設されています。朝7:00から自由に利用でき、朝から夜まで、すべての学年の生徒が多く利用しています。机は一人ひとり仕切られているので自分の勉強に集中することができます。

また、職員室も隣にあるので、よくわからないことなど質問するにも近くて便利です。「自ら考え、自ら悩み、自ら答えを出す」勉強の楽しさを実感できる場所です。



Point 4 難関大学進学を実現する独自カリキュラム

1日7時間、土曜日の特別授業を含めた6日制授業、夕方の特別授業を実施しています。1年生の早い時期に予習→授業→復習のサイクルを確立し、3年生での入試に備えます。東京大学をはじめとする難関大学に対応したカリキュラムのもと、3年間で現役合格できる実力を養います。1年生は英語・数学・国語の主要3教科に特に力を入れ、基礎力を身につけるとともに、大学入試に直結するような思考力を養います。英単語や英文法などの小テストも行っています。分かったつもりだった内容を再確認し、基礎力の向上に役立ちます。2年生は英語に加え、国語の演習問題を行っています。大学入試センター試験や私立大学・国公立大学2次試験などで実際に出題された問題を用いて演習を行い、応用力を身につけていきます。3年生は記述力の向上を目的に各科目で添削指導などを行っています。教員は、駿台予備校、河合塾、代々木ゼミナールなどの大手の予備校が行う研修に参加しており、授業レベルの向上や進路指導の充実を目指しています。



Point 5 Classiを用いた学習方法

Classiはネットワークを用いた学習システムです。学校内だけでなく、PCやタブレットがあれば自宅でも利用できます。分野や進度に関係なく必要な内容にピンポイントでアクセスでき、レベルに応じた学習ができます。中学校の内容に立ち戻って学習し直したり、2年生、3年生の内容を学ぶこともできます。また、授業担当の教員からメッセージが送られてきて、授業の復習や予習に役立ちます。

04. クラブ活動

好きな分野で心と体を完全燃焼

2007年度からクラブ・同好会活動をはじめます。組織の中で友人と協力したり、自発的な行動をする事は、生徒にとって貴重な財産になると思います。また、新しくクラブを設立することもできます。理由なく熱中できるもので新しい自分を発見できる場所です。

運動系 SPORTS

- 卓球
- バドミントン
- テニス
- よさこい(ダンス)



バスケットボール フットサル

文化系 CULTURE

- 囲碁将棋
- 園芸
- ボランティア
- クイズ



美術部 書道

05. 卒業生の声

特進を卒業して思うこと 夢を叶える3年間、将来に向かって

桐一プライド！

平成29年度卒業生
金子 怜奈
(青山学院大学・国際政治学部)

私が現在の大学を選んだきっかけは、2年次のニュージーランド研修を通じて英語力を強化できる環境に身を置きたいと感じたからです。その後先生方のサポートもあり高校在学中に英検準1級を取得することができました。現在は、週の半分以上の授業を英語で受講しながら、交換留学を目標に頑張っています。現在の私があるのも、桐生第一の特別進学コースで過ごした3年間があったからです。特別進学コースには、目標を持ち勉強する意思をもった生徒をサポートする環境が整っています。レベル別、志望校別の授業や個別指導が先生方から受けられ、また気軽に質問に行けるのは少人数制ならではです。また、ここで出会う友人の多くは将来の夢や目標を持ち努力しています。そのため互いに高めあい、モチベーションを高めることができました。もちろん、ここでの生活は大変なことも多いです。しかし、卒業した今振り返ってみると、それを乗り越えたからこそ大きく成長できたと感じています。中学3年のあのとき、桐生第一を選んで本当に良かったです。

夢の実現と私の可能性

平成28年度卒業生
大友 七海子
(東京農工大学・工学部電気電子工学科)

私は中学の時からずっと興味を持っていた電気電子工学系に進むことができ、勉強はもちろんサークル活動も楽しく充実した大学生活を送っています。高3になって行きたい大学の方向性は決まっていたもののどの大学に行くべきかは決めきれずにいました。行った大学によってこの先の自分の全人生が決まるとすら思っていた私はそのことに焦りを感じていました。その時に桐一の先生が農工大を勧めてくれました。農工大は他大の大学院に進学する人も少なくなく、就職先も豊富でした。また一般的にはあまりないサークルがあり、勉強以外のことも選択肢が充実していました。自分で調べただけでは知ることができない大学の特徴や活動を教えていただけ、さらに将来について具体的な像を持っていなかった私に、学部を卒業した後の将来の選択肢が豊富にある大学を勧め、進むことが出来たのは桐一の先生のおかげです。私の将来の事まで考えて親身に進路相談も勉強も付き合っていたいただいた先生方に本当に感謝しております。

最大限に伸ばしてくれる

平成25年度卒業生
尾池 かな
(筑波大学・人文文化学類)

中学3年生になっても将来の夢や進路があやふやだった私は高校選択を本当に悩みました。そんな時先生方からこの学校の特進を進めてもらいました。勉強オンリーという印象が強かったので、勉強が苦手だった私は最初選択には入れていませんでした。しかし、学校のサイトを試しに見てみると、他の学校では見られない程整った学習環境と、何よりその進学実績に魅せられ、ここなら自分の将来が見つかるのではないかと入学を決意しました。

その後の高校生活で特に印象深かったのは、先生との関わりでした。この特色として先生と生徒の距離が近い、というのがあります。個人の力は勿論大切ですが、経験豊富な先生方はそれを最大限、それ以上に伸ばしてくれます。正直私一人ではここまで自分を伸ばすことはできませんでした。先生方の細やかな気遣いや頼りがいのあるアドバイスなど生徒に対するありとあらゆる熱意が私を力強く後押ししてくれ、こうして自分の望んだ進路に進むことができました。もし、同じように進路を迷っていたり、より上を目指したいと思っていたりしているのなら、ぜひ桐一の特進に来て下さい。やる気さえあれば、後は全て揃っています。この特進の三年間は、あなたの確かな力になります。

自分と向き合い 変えるチャンス 与えてくれる

平成24年度卒業生
下山 雄人
(筑波大学・応用理工学群)

私が桐一特進に進学を決めたのは、中学までの中途半端な自分を変えたかったからです。そして3年間目標を持ち、自分と向き合った事で変わる事ができ、さらに将来へつなげる大きな一歩も勝ち取る事ができました。この特進には、生徒が目標を達成するチャンスを、熱心な指導を通して与えてくれる先生、馴れ合いではなく、共に励み努力する友人、先生方の授業を快適に集中して受ける事ができる教室、チャンスをつかみに行くための自主性を養うには、最高の自習室と、あげればきりが無い程素晴らしい学習環境が整っています。私はこのような学習環境で学習することによって、大学合格のための知識・学力だけでなく、進学後さらには卒業後にも役立つような考え方・人間性も学び得る事ができました。この特進で得たものは、費やした時間を差し引いても余りあるほど価値のあるものだと思っています。3年間この特別進学コースで学ぶことができて本当によかったです。

将来は日本と世界の 架け橋になる

平成24年度卒業生
横川 和花
(お茶の水女子大学・文教育学部)

私は好きな英語を学び、外国の大学で行われる研修に参加し、とても充実した大学生活を送っています。そして将来は日本と世界の架け橋になりたいと考えています。このような充実した生活を送っているのは、高校生活の影響があると思います。高校生の時の模試では、思ったような結果が得られず、勉強で悩む事が多かったです。その度に桐一の先生方は、私が苦手な箇所ができるようになるまで補習して下さいました。勉強中やる気がでない時は、他の生徒の頑張る姿を見て「私も頑張らなくちゃ」と思うようにしていました。このような桐一での生活があったからこそ、今の私があります。

06. 学校行事

特別進学コース独自の行事を生徒主体で実施 海外への語学研修でホームステイ体験

4月 オリエンテーション

高校入学直後にオリエンテーションを実施しています。予習→授業→復習を基本とする高校生の勉強方法や、高校生としての規律などについても学びます。レクリエーションもあり、緊張がみだった1年生の雰囲気も和やかに、友達との仲も良くなります。



6月 大学見学会 (1年生)

難関進路学習の一環で行っていますが、友達との仲を深める機会でもあります。実際の大学を目の前にして、将来の職業や目標を友人と話している姿をよく見かけます。大学見学会のあとは勉強に対する気持ちや雰囲気が一新される生徒が多くいます。授業も集中して、宿題や自主勉強にもさらに前向きに取り組めるようになります。同じ目標に向かっていける友人や教員からの励ましによって1年生も本格的に“特進生”になっていきます。



7月 スポーツ大会

クラスでそろえたTシャツを着て競技に集中したり、一生懸命に友達を応援したり、普段の生活では見えなかった友達の良いところが見えてきて、信頼関係も深まります。友達を助けたり、逆に友達から助けられたりしながらクラスの結束力も強くなります。これから迎える大学受験もこのチームワークで乗り越えていきます。



9月 孀恋勉強合宿

孀恋高原で行われる全学年全員参加の勉強合宿です。3泊4日24時間体制で行われ、各学年の状況に応じて授業や問題演習、自習などを行っています。昨年は夕食後に講堂で全学年一斉の自習を行いました。1・2年生は、3年生の緊張感を感じ、3年生は後輩に負けじと勉強に打ち込んでいました。



10月

強歩大会 (隔年)

東武・足利市駅付近をスタート地点にして、渡良瀬川沿いを学校まで約20km歩きます。ゴール目指して走る、励まし合いながら友達と一緒に歩く、ゴミを拾いながら歩くなど、さまざまなスタンスで生徒は最後までやり遂げる気持ちを強歩大会で体験します。



文化祭 (隔年)



研究会やクラブ紹介、クイズ、英語スピーチなど、生徒はいろいろな目的を持って参加します。一つの物を作り上げる感動を体験できているようです。「自分たちが作ったもので楽しんでもらえてよかった」という話をよく耳にします。時間をかけて調査研究してきたものを発表したり、他の人に楽しんでもらう喜びを知る事が出来る機会です。



6月 語学研修旅行 (2年生)

英語に慣れ親しみ豊かな国際教養人になるために、2年生全員が海外研修旅行に参加します。今年は9泊10日の日程でニュージーランドのオークランドに行きました。ホームステイしながら、午前中は語学学校で現地の先生に英語を学び、それを乗馬、博物館見学、セーリングなどアクティビティを通して実践します。さまざまな国から人が集まるオークランドは、きれいな海はもちろん、近郊には自然を保護している島などがあり、活きた英語とともに様々な国の習慣や文化、環境保護などを学ぶことができます。このような最高の環境の中で、生徒は1日1日成長していきます。異国を体験することで、日本の伝統や文化も再確認できます。それぞれの国の文化について理解を深め、地球人としての視野を広げます。日本に帰る頃には生徒同士の会話でも自然と英語が混ざるようにになります。



2月 スケート教室

はじめての生徒がほとんどですが、スケートを体験している生徒もいて、生徒同士助け合いながら滑れるようになります。気持ちもリフレッシュして、勉強にも集中できます。



3月 送る会

いろいろな場面で先頭を立て引張ってくれた3年生へのお礼の気持ちと、大学へ進学していく先輩への励ましの気持ちを込めて花束が贈られます。1・2年生の出し物も行われたり、3年間の思い出を振り返るビデオも上映されます。



3月 研究発表会

研究会活動で1年間行って来た研究の成果を発表します。各自で決めた研究テーマに沿って行われる発表には、教員も興味を引かれます。今まで調べた結果をどのように発表するか、プレゼンテーション能力を養う機会にもなっています。

